

横須賀市立武山小学校 令和2年度 学校経営方針

日本国憲法、教育基本法及び神奈川県「学校教育指導の重点」や横須賀市教育委員会によって示された「指導の方針・指導の重点」に沿って「人間性豊かな子ども」を目指す子ども像として、本校学校教育目標や今年度の重点目標を掲げ、地域で信頼される学校を目指す。

学校教育目標	「生きる力」を身につけた人間性豊かな子どもを育成する
めざす児童の具体像	
たくましい子	心と体の健康を意識し、たくましく成長する子ども <ul style="list-style-type: none"> ・力いっぱい活動しよう ・基本的な生活習慣を身につけよう ・体を鍛え粘り強くなるよう ・健康に気をつけ、体力づくりをしよう ・自己肯定感・自己有用感・他者理解（道徳教育） ・自分の命は自分で守ろう
けんきゅう心のある子	研究心をもち、主体的・創造的に活動する子ども <ul style="list-style-type: none"> ・人の話を最後まで聴こう ・よく見つけ、よく考えて、正しい判断をしよう ・自ら課題をもち、自ら学び、課題の解決に向けて取り組もう ・学び合い、高め合う場をもとう
やさしい子	やさしさをもち、積極的に社会にかかわる子ども <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつをしよう ・感謝と思いやりの心をもとう ・自然を愛し、生命を尊び、ものを大切にしよう ・進んで行動し、自分の行動に責任をもとう
まごころのある子	まごころをもって、共によりよく生きる子ども <ul style="list-style-type: none"> ・きまりを守ろう ・友だちとなかよく力を合わせよう ・いじめや差別をなくそう ・互いの立場や存在を認め合おう
学校運営方針	学校教育目標の実現に向け、全職員が協力して学校運営にあたる【チーム武山小】 ～ スマイル & チャレンジ ～
目 標	具体的な取り組み
豊かな学び	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領のねらいの達成に向けた特色ある教育課程の編成を行う ・実践した教育課程をPDCAサイクルを通して考察し、カリキュラム・マネジメントを通してより良い教育課程づくりを進める ・児童一人一人の実態を丁寧に把握し、基礎的・基本的な学力の定着に努める ・児童が主体的・対話的に学習に取り組み、深い学びの獲得に結びつく授業づくりを目指し、指導方法の工夫・改善、指導力の向上に努める【国語科校内研究】 ・インクルーシブ教育システムの構築を推進し、全職員が連携して取り組む支援体制を進める（授業のユニバーサルデザイン化、基礎的環境整備、合理的配慮の提供、児童の共通理解と組織的・継続的な指導・支援） ・校内支援体制を充実させ、保護者・関係機関と適切な連携を深める ・新学習指導要領実施に向けた準備を進める ・幼保小連携・小中一貫教育の推進に努める
健やかな体豊かな心	<ul style="list-style-type: none"> ・保健体育学習の充実に努める ・子ども理解、教師と児童との信頼関係及び児童相互の好ましい人間関係の育成を図る ・給食指導を中心とした食育の充実に努める ・学級経営、特別の教科道徳、人権教育、学級活動、行事等を通じて自己肯定感、自己有用感・他者理解の心を育むことで命の大切さに気づき、いじめを許さない心を育てる ・集団の中でルールやマナーを守ろうとする態度を育てる ・進んであいさつができる児童に育てる
組織運営人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ・総括教諭を中心とした4分掌の組織が機能する学校運営を推進する ・「報告・連絡・相談」の体制づくり、職員会議・児童交流等で児童の情報共有を通して、学校体制で児童の理解と指導にあたる ・校内研究や研修、学年会、研修等を充実させ、授業力・指導力を磨き、団結して組織的に教育活動を展開できる学校をめざす ・学校事故やいじめ等の様々な問題に対して学校体制を整え、その未然防止に努めるとともに、事案が起きたときは速やかかつ適切に対応する ・教職員が互いの立場を認め協力し合うことで同僚性を高め、活気があふれ、安心・安全で信頼される学校づくりを進める
地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との信頼関係に基づく教育活動、地域の教育資源(環境・人材)を生かした教育活動の展開を図り開かれた学校づくりを行う ・保護者との連絡を密にし、協力して安心・安全な学校づくりをめざす（食教育の推進・食の安全・けがの対応・家庭学習・防災教育など） ・学校だより、学年だより、学級だより等を通じて学校の様子を知らせ、学校教育についての理解を図る
安全指導教育環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・校内危機管理体制を充実させ、適切な対応に努める ・保護者・地域・関係機関と連携した危機管理体制を整える ・児童が危険を予測し、適切に対応できる実践力の育成と防災教育の充実に努める ・合い言葉は「自分の命は自分で守る」 ・安心・安全な教育環境づくりに努め、安全指導の徹底を図る

指導の重点 ～子どもの「生きる力」の育成に向けて～

重点1	学力の向上を図る
<ul style="list-style-type: none"> ◆学習の基礎・基本や自ら学び考える力をつける指導方法と評価の工夫・改善を図る ◆子ども一人ひとりが主体的に取り組むことのできる授業づくりを進める【外国語科校内研究】 ◆子どもの課題意識と解決意欲を大切にしたい問題解決的な学習・体験的な学習を推進する ◆カリキュラム・マネジメントの工夫と主体的・対話的で深い学びによる授業作りを進める ◆英語活動の充実を図る ◆豊かな人間性を育むために読書活動を推進し、学びの基礎力を向上させる <ul style="list-style-type: none"> ・学校司書、図書ボランティアと連携した読書活動（学校図書館の活用・朝読書・読み聞かせ） ◆教材教具の工夫や教育機器の活用を図る ◆朝学習・家庭学習を推進する 	
重点2	認め合い高め合う関係を築く力を育てる
<ul style="list-style-type: none"> ◆特別の教科道徳の授業を要にして自分の良さや他者のよさを認めあえるような場の設定に努める ◆子どもが個々のよさを発揮して成長できる学年・学級集団を形成する ◆伝え合う力や関わり合う力の育成と高め合う場づくりを心がける（人とつながる・言葉でつながる・心がつながる） ◆特別活動を中心とした話し合い活動の充実を図る ◆地域や家庭等、多くの人とのふれあいの場を設定する <ul style="list-style-type: none"> ・地域の教育資源の授業での有効活用を図る ◆一人一人の教育ニーズの把握と適切な児童理解に努める ◆担任による早期の気づきと早期の対応、学校内外での教育相談を充実する <ul style="list-style-type: none"> ・教育相談コーディネーターやふれあい相談員を活用した校内支援体制づくり ・専門的な関係機関との連携強化(サポートチーム会議) ◆情報収集と情報の共有を図る <ul style="list-style-type: none"> ・問題を抱える子どもの情報共有と支援体制作りを進める(校内支援会議・学校いじめ防止対策委員会) ◆問題の抱え込みを廃し、必要な支援の提供を行う ◆個人面談等での情報提供と教育相談を実施する ◆専門性を高めるための教師の研修・研究の機会の設定 	
重点3	健康の保持増進と体力の向上を図る
<ul style="list-style-type: none"> ◆体育や体育的行事を通して健康な体作りを進める ◆休み時間の外遊びを推進する ◆児童会主催の体育的活動を推進する ◆健康な体を作るための食の大切さを指導する ◆家庭と協力して正しい生活リズム作りに取り組む <ul style="list-style-type: none"> ・早寝・早起き・朝ご飯 	